



一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)とは……

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会は、我が国のビジネス機械とそれに付随する情報システム産業の総合的な発展、並びにその改善合理化を図ることにより、日本経済の発展とオフィス環境の向上に寄与することを目的とする業界団体です。

情報技術の進化は、デジタル・ネットワーク時代の高度化をもたらし、オフィス環境に大きな変化を促しております。当協会では、ハード重視から製品を含むトータルなビジネスソリューションの提供をより重視するという業態の変化を受けて、製造事業者のみならず、販売、サービス関連の事業者とも連携を深めて、政策提言、国際協力、温暖化防止、環境保全、標準化、製品安全等に関する事業や調査研究事業を行い、業界の直面する内外の重要課題に対応して、活発な委員会・部会活動を展開しています。

事業内容

ビジネス機械・情報システム産業に関連する

- 調査研究及び情報の提供
- 効率化方策の策定及びその推進
- 規格の作成及び標準化の推進
- 国際交流及び国際協力の推進
- 環境、安全及び品質問題に関する事業の推進
- 普及と啓蒙
- その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

設立の経緯

1960年(昭和35年)2月17日：日本事務機械工業会の発足

1966年(昭和41年)11月1日：社団法人日本事務機械工業会の設立

2002年(平成14年)4月1日：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に改称

2012年(平成24年)4月1日：一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会に移行

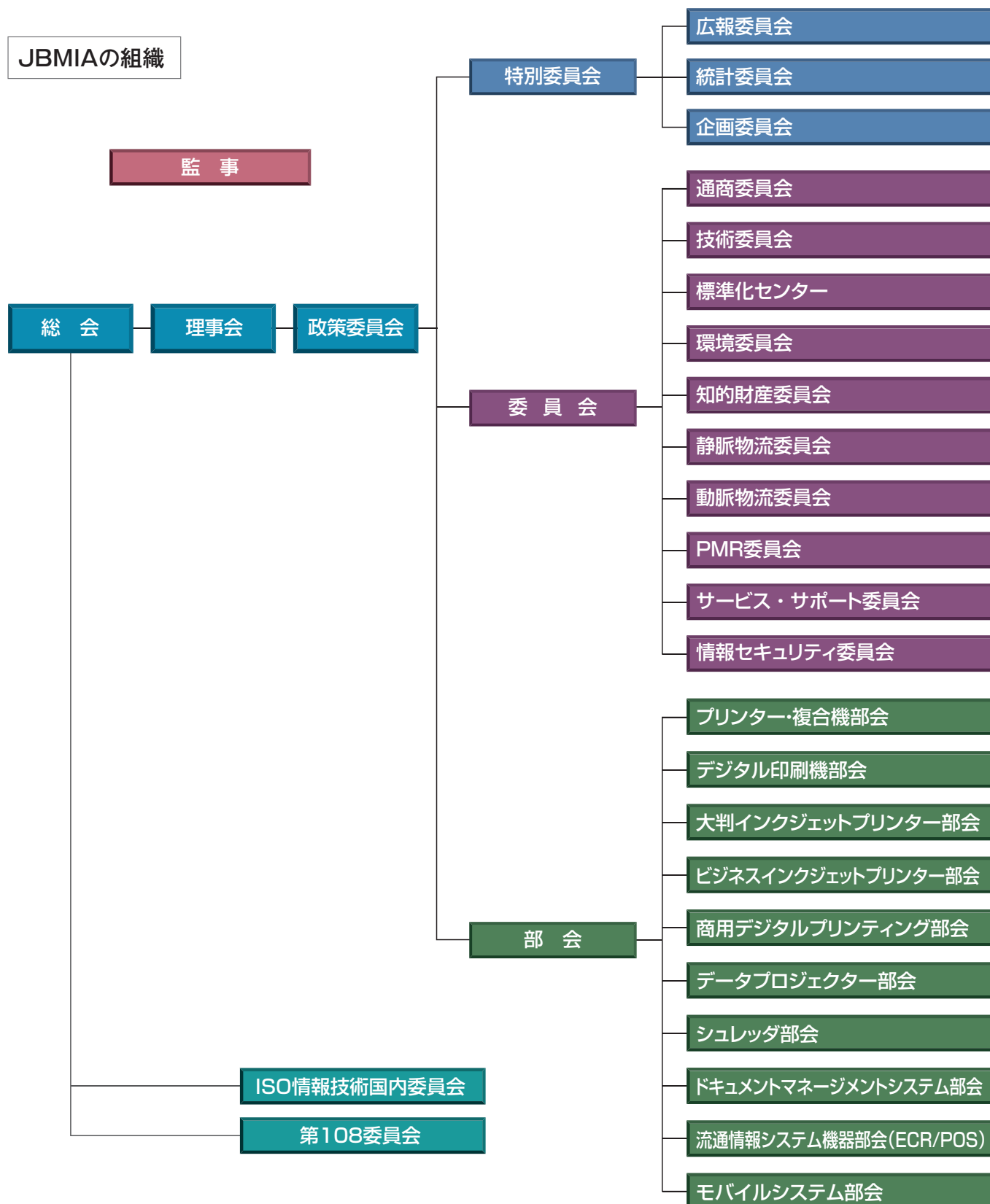
会員の種別と資格

- **正会員**：ビジネス機械・情報システムの製造事業を営む法人
*正会員のグループ企業も登録により、委員会・部会活動に参加することができます。
- **準会員**：前項に該当しない法人
*委員会・部会活動に参加することができます。
- **賛助会員**：本会の目的に賛同し、協力しようとする法人
*委員会・部会活動に参加することはできません。

主な対象機器

- 複写機・複合機
- ページプリンタ
- デジタル印刷機
- 大判インクジェットプリンター
- ビジネスインクジェットプリンター
- 商用デジタルプリンティング
- データプロジェクター
- シュレッダ
- ドキュメントマネジメントシステム
- ECR/POS(金銭登録機)
- カード及びカードシステム
- 電卓・電子辞書

JBMIAの組織



会長挨拶

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

会長 真茅 久則

(富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 取締役会長)



新型コロナウイルス感染拡大の影響がもたらしたニューノーマル時代、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた環境への取り組み、ロシア・ウクライナ関係を始めた緊張感が高まる国際情勢がもたらす経済安全保障やサプライチェーンの課題は、業界ならびに市場、お客様の大きな関心事となっています。これらの社会課題は、総じて多様化、複雑化しています。各企業が個社として課題解決に取り組むだけでなく、企業が連携し、力を合わせて課題解決に取り組むことで、社会に対してより大きな成果をもたらすことができます。また、環境や人権について規制や指針制定の検討が国内外で進められており、これらへの対応や情報開示への取り組みも急務です。

当協会の会員企業各社が製造・販売する複合機、プリンター、プロジェクター及びシュレッターなどのビジネス機器は、オフィスやホームでの業務を支えるインフラとして国内外で広く利用されており、AIやセキュリティなどのデジタル新規技術の活用が働き方の多様性を実現するために重要です。当協会は、会員企業各社が連携して社会に対する責任を果たしながら、新たな価値創造に向けた活動の協調を推進するとともに、業界の視点から市場やお客様の期待に応えることを促進していきます。

以上を踏まえ、私は新会長として、当協会が重点的に取り組むテーマを、グリーン、デジタル、グローバルの観点で取り上げます。

- 1.製品ライフサイクル全体を見据えた環境課題解決の加速
- 2.ニューノーマル時代の多様性に向けたDX化の推進
- 3.グローバル市場で求められる責任ある企業行動の促進

各重点テーマに対して、長期的な視点を持ちながら、具体的な協会活動で成果を出すことに挑戦していきます。

以上



委員会・部会の主な活動と成果

JB Mia活動の基本方針として、デジタル化、ネットワーク化の推進、地球環境問題、ユーザーニーズ変化への対応等、業界の共通重要課題の解決への貢献をモットーに機動的な事業活動をしています。

活動事例紹介

環境・回収リサイクル

当協会が所管する製品に対する国内外の環境関連法規制（回収リサイクルや含有化学物質など）や環境ラベル（エコマークやブルーエンジェルなど）に関する動向調査・対応等、環境をテーマにした様々な活動を行っています。さらにプラスチックのオープンリサイクルのシステム構築を目指した活動も開始しています。

複写機・複合機／デジタル印刷機のメーカー12社が中心となり、各社が営業活動で下取りした他社の使用済み機を「回収機交換センター」へ集荷し、そこからそれぞれの製造メーカーに使用済み機を返却するシステムを構築しています。またあらたに、製品を共同で配送する仕組みの構築をめざした活動を開始しています。はじめに、エンドユーザーに製品を届けるラストワンマイルを共同で配送するシステムの構築に向けた活動を行っています。

この活動により会員のリユース・リサイクルの促進、回収、配送時物流の共同化による輸送時のCO₂排出の削減等に寄与しています

国際関連

めまぐるしく変貌する国際社会の中で、WTO関連やAPECなどのグローバルテーマに関して、複合機の関税に関するWTO提訴活動を長年進めてきたのを例に、事業運営及びビジネスに関与するテーマの分析、研究の上、業界の利益、品質向上を目指し、各種諸問題、課題解決を推進しています。また国際貢献の視点から日本ASEAN統合基金（JAIF）を活用して、ASEANへの技術支援活動を実施し、ASEANとの協力関係を促進している。

セキュリティ関連

セキュリティについてはますます重要性となっている。情報セキュリティ委員会を中心に検討した複合機のセキュリティ規格ネットワーク機能付き事務機セキュリティガイドライン（略称：BM Sec）をプリンター・複合機部会と連携して2021年度から運用を開始している。

デジタル関連

ドキュメントマネジメント部会を中心に、電子帳簿化の推進のために、電子帳票類をQRコードで効率よく取り扱うことができるJBMS標準化QRコード規格を設定し普及活動を行っている。



役員名簿 Board Members

代表理事	会 長	真茅 久則	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社 取締役会長
代表理事	筆頭副会長	沖津 雅浩	シャープ株式会社 代表取締役 副社長執行役員
理 事	副 会 長	本間 利夫	キヤノン株式会社 代表取締役副社長 CTO
理 事	副 会 長	大幸 利充	コニカミノルタ株式会社 代表執行役社長 兼 CEO
理 事	副 会 長	碓井 稔	セイコーエプソン株式会社 取締役会長
理 事	副 会 長	錦織 弘信	東芝テック株式会社 代表取締役社長
理 事	副 会 長	山下 良則	株式会社リコー 代表取締役会長
理 事		樫尾 和宏	カシオ計算機株式会社 代表取締役 会長
理 事		伊奈 憲彦	京セラドキュメントソリューションズ株式会社 取締役
理 事		小池 利和	ブラザー工業株式会社 取締役会長
理 事		羽山 明	理想科学工業株式会社 代表取締役社長
代表理事	専務理事	田中 博敏	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
業務執行理事	常務理事	橋爪 弘	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
監 事		森 孝廣	沖電気工業株式会社 代表取締役社長執行役員 兼 最高経営責任者
監 事		村田 大介	村田機械株式会社 代表取締役社長



正会員 (21社) Regular Members

アイリスオーヤマ株式会社	富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
沖電気工業株式会社	富士通株式会社
カシオ計算機株式会社	富士フイルム株式会社
キヤノン株式会社	ブラザー工業株式会社
京セラドキュメントソリューションズ株式会社	株式会社ミマキエンジニアリング
コニカミノルタ株式会社	村田機械株式会社
シャープ株式会社	株式会社明光商会
セイコーエプソン株式会社	株式会社リコー
株式会社デュプロ	理想科学工業株式会社
東芝テック株式会社	ローランド ディー.ジー.株式会社
パナソニック コネクト株式会社	



準会員 (16社) Associate Members

アコ・ブランド・ジャパン株式会社	テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社
SBSリコーロジスティクス株式会社	株式会社東陽テクニカ
株式会社エディックワークス	株式会社日本HP
株式会社グレープシステム	日本通運株式会社
株式会社コスモス・コーポレイション	一般財団法人 日本品質保証機構 (略称JQA)
サトーホールディングス株式会社	フェローズジャパン株式会社
株式会社テクノサイエンスジャパン	マイクロウェーブファクトリー株式会社
Sky株式会社	株式会社ULJapan



賛助会員 (2社) Supporting Members

京セラ株式会社	日立チャネルソリューションズ株式会社
---------	--------------------



委員会 Committee

特別委員会

企画委員会

当協会の主要事業に関する課題等の審議と、理事会への提案について検討をする

広報委員会

当協会の事業活動に関する情報発信、広報の普及啓蒙について検討し、実施する

統計委員会

当協会が所管する製品の統計・調査を検討し、実施する

課題別委員会

通商委員会

グローバルテーマに関して、事業の観点に基き、通商問題に関する活動、及び急速に拡大する新興市場に対する業界の取組みについて、調査、分析、業界の統一見解を通して、日本政府と共に活動している

技術委員会

製品安全、EMC(電磁環境)、通信、電磁波による人体曝露に関する規制動向調査とその対応策の検討、新技術動向調査、ユーザビリティ調査研究、包装関連規制動向調査などを行い、技術的課題の解決を図る

標準化センター

カラー化／ネットワーク化に対応した標準化、ユーザーインターフェースの利便性改善、高齢化・障がい者に配慮した事務機器のアクセシビリティ改善、協会の標準化活動の推進、JIS原案作成活動推進などを実施

環境委員会

地球環境の維持向上に向けて、ビジネス機械・情報システム産業における国内外の社会動向、及び環境問題について総合的に調査・研究を行い、環境問題の解決に取り組む

知的財産委員会

工業所有権、法務・著作権及び模倣品対策の調査研究、業界意見の取りまとめなど、日本特許庁及び諸外国特許庁などと連携の上、諸制度の改善、提案活動など

静脈物流委員会

使用済み製品の回収に関するシステムを推進する委員会

ユーザーから下取りにて回収した他社複写機・複合機等を効率良く交換・再資源化するシステムを運用中

動脈物流委員会

各社製品を共同輸配送することにより効率化を図り、使用するトラックの台数を削減し、『運べないリスク』の解消、物流業界の労働環境の改善(ホワイト物流)CO₂削減への貢献を実現する

PMR委員会

使用済みプラスチック資源循環システムの構築検討、およびそれに関連する法規制等の収集と共有化を実施する。

サービス・サポート委員会

サービス・サポート業務の検討、カスタマエンジニア(CE)のスキルアップ策の検討、及び提供するサービス・サポートレベルの向上の検討など

情報セキュリティ委員会

国内外の情報セキュリティに関する規制情報等の収集分析、標準化対応、協会事業に関わる情報セキュリティ課題への対応等について政府機関、他の関連団体等と連携しつつ活動する。

ISO/IEC国内委員会

ISO情報技術国内委員会

ISO国際標準の作成と提案及び国際規格の審議

(対応分野:事務機械、カード及び個人識別、情報機器に関わるユーザーインターフェース)

第108委員会

IT機器、オーディオ・ビデオ及び関連電子機器部門の安全性に関わる標準の国際規格(IEC)への提案並びに電気用品技術基準の整合化など



部 会 Groups for each product

製品別部会

プリンター・複合機部会

省エネの促進、3Rの促進、用語・仕様書様式などの標準化、判りやすい表示の検討、流通に関する諸問題の把握・検討と適切な対応。

デジタル印刷機部会

標準化の推進、3R促進、製品の普及促進及び業界動向の把握など

大判インクジェットプリンター部会

大判インクジェットプリンター分野の使用環境に関する安全性や、基本仕様をカタログに記載する方法の標準化の検討など

ビジネスインクジェットプリンター部会

オフィス等で利用が広がるビジネス用途のインクジェットプリンター分野で、各社のカタログに記載される基本仕様やTCO関連の公表データに関する測定方法の標準化の検討など

商用デジタルプリンティング部会

商用デジタルプリンティング分野において、用語の共通化・UI表示の統一や印刷ワークフローの連携強化と領域拡大についての検討など

データプロジェクター部会

性能表記や測定方法・条件、用語などの業界統一、標準化の推進、PJLinkの普及促進、新光源の安全規格対応など

シュレツダ部会

安全性、規格基準、法規、環境、リサイクルに関する調査・研究など

ドキュメントマネジメントシステム部会

文書情報を通して「企業の透明性の確保」と「経営力の強化」を両立させるための『文書管理システム(DMS)』の開発と普及促進の取り組みなど

流通情報システム機器部会 (ECR/POS)

ECR及びPOSシステムの国内外の市場動向の把握、次世代POSシステムの調査・研究など

モバイルシステム部会

モバイルワーク及び機器の活用提案や電卓・電子辞書等のモバイル関連機器の市場動向や技術動向等の調査分析、標準化、自主統計など



理念・ビジョン・役割

【理 念】

ビジネス機械・情報システムの継続的な革新を通じて、
新しいワークスタイルを提案し、活力あるグローバル社会を創る

【ビジョン】

誰もが創造的に働くことができる持続可能な社会創りに貢献する

- 人類の持続的な発展のために、誰もがいつでもどこでも喜びや楽しみを感じながら安心して働くことができる社会実現に貢献します
- 常に一歩先を見据えて社会のあるべき姿を考え、社会課題を解決する事業活動を実践します
- 脱炭素社会、循環型社会の実現に向け、“働く”と“環境”の両立をリードする新しいワークスタイルを提案し実践します

【役 割】



■社会課題解決への貢献

会員企業と共に、常に社会動向、経済動向、人々の生活や意識など、我々を取り巻く社会変化を捉え、その一歩先を見据えて取り組むべき課題を明確にし、その課題解決に向けた事業活動を展開します。

■政策提言と社会実装支援

国際社会との連携、並びに政府・自治体・関連する団体と連携した政策提言を行い、その具体化と社会実装を支援します。

■市場・産業構造の分析並びに規格・ルールの策定

当協会・業界に關係する市場実態・法令・産業構造等の調査並びに統計による把握と研究を行う。また安心・安全な社会に向けた法制化・標準化・規格化および統一基準等の策定に向けた検討と提案を行うと共に、その普及・広報活動を行います。

■お客様価値提供の追求と事業推進の支援

常に時代に即したお客様価値を追求して参ります。そしてその実現に向けて参加企業と共に業界発展とお客価値創出の両立に貢献します。

【MEMO】



一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
Japan Business Machine and Information System Industries Association

〒108-0073 東京都港区三田3-4-10 リーラヒジリザカ7階

TEL: 03-6809-5010 FAX: 03-3451-1770 <http://www.jbmia.or.jp>



都営三田線・都営浅草線「三田」駅より 徒歩 約4分
JR山手線「田町」駅より 徒歩 約6分

